

平成29年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT29283 蚊やマダニについて学ぼう



全体写真

開催日：平成29年8月10日

実施機関：山口大学

(実施場所) (山口市吉田 1677-1)

実施代表者： 鎌田 龍星

(所属・職名) (共同獣医学部・学術研究員)

受講生：中学生5名・高校生1名

関連URL:

【実施内容】

○受講生に分かり易く研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意した点、工夫した点

1. 講義スライドに絵やスライドショーを多用し、躍動感のあるスライド作りを心掛けた
2. 文言は専門用語を避け、スライドには設問形式を多く取り入れ、受講生が飽きないように配慮した
3. 参加者が実施協力者の学生とも交流の機会を多く持つよう配慮した

○当日のスケジュール

9:30～10:00	受付(集合場所:山口大学共同獣医学部)
10:00～10:10	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)
10:10～10:20	講義①「蚊について(講師:鎌田龍星)」
10:20～10:30	講義②「マダニについて(講師:高野愛)」
10:30～10:40	講義③「人獣共通感染症について(講師:下田宙)」
10:40～11:30	キャンパスツアー
11:30～12:30	昼食・休憩
12:30～12:40	講義④「蚊・マダニの捕集について(講師:鎌田龍星)」
12:40～13:40	野外調査「蚊・マダニの捕集」
13:40～14:00	クッキータイム
14:00～15:30	実習「蚊・マダニの解剖と初代培養」
15:30～16:00	ディスカッション
16:00～16:20	修了式(アンケートの記入、未来博士号の授与)
16:30	終了・解散



配布資料の表紙

○実施の様子

【講義】予定の講義を実施した。講義時間が予定より長くなったため、質疑応答を手短にした。

【キャンパスツアー】山口大学共同獣医学部 iCOVER 内にある実験施設 (BSL3, BSL2, 実習室内)を見学し、機器類(遺伝子実験装置、共焦点顕微鏡、フローサイトメーター等)について説明した。



キャンパスツアー

【野外調査】まず蚊・マダニの捕集について講義を行い、次に山口大学構内の裏山で蚊・マダニの捕集を体験した。参加者ほぼ全員が蚊・マダニの捕集を体験することができた。



野外調査

【室内実習】蚊・マダニを実体顕微鏡で観察した。種を同定するためのキーとなる形質について重点的に説明した。様々な形をした多種多様な標本を観察し、生物多様性について考える。受講生全員が蚊を解剖し、蚊の中腸とだ液腺の摘出と観察を行った。培養細胞作製の実験まで手が回らなかったため、今回は様々な培養細胞の観察を以て実習を終えた。



室内実習

【ディスカッション】質疑・応答を行った。6つ程質問があった。(本プログラムを行ったきっかけ、蚊・マダニの危険性、マダニ対策、獣医学部卒業後の進路など)

【修了式】アンケート記入後、未来博士号(賞状)の授与を行い、閉幕(16:30)。



修了式

○事務局との協力体制

山口大学研究推進課が報告書の確認、日本学術振興会への連絡調整および提出書類の確認・修正等を行った。山口大学共同獣医学部予算管理係が委託費の管理と物品の準備を行った。

○広報活動

研究推進課が山口大学 WEB サイトへの募集案内の掲載と山口市教育委員会への仲介を行った。予算管理係が附属中学校への告知を行った。自らは、山口県下の高校への告知と、山口駅・新山口へのポスター&チラシの掲載依頼を行った。

○安全配慮

プログラム参加者はレクリエーション保険に加入した。野外採集では、熱中症対策の飲み物と、虫忌避剤を十分に用意した。

○今後の発展性、課題

身近な生き物である蚊やマダニは参加者にも馴染みがあって受けが良かった。アンケート結果も含め、実習が好評だったように思われる。時間の関係で計画していたすべてのプログラムをこなすことは出来なかったため、今後は時間配分を厳密にする必要がある。

【実施分担者】

高野 愛 (山口大学共同獣医学部・准教授)

下田 宙 (山口大学共同獣医学部・助教)

【実施協力者】 5 名

【事務担当者】

沖中 玲子 山口大学研究推進課 研究助成係 係長

鍵谷 征範, 上田 麻純 山口大学共同獣医学部 予算管理係